



### ＜コンセプト＞

大分大学医学部附属病院前の県道207号線を  
挟間方面へ下ると、左手に見えてくる『立川眼科』  
県道から見えるファサード（外観）は、立川院長が  
生まれ育った湯布院町の盆地から望む、由布岳の  
山容を大胆なモニュメントレリーフとしました。

由布市全体（湯布院町、庄内町、狭間町）の住民  
の皆様の眼を守るかかりつけ医として、日夜診療に  
励んで頂いております。

## 10年目の覚悟

立川眼科 立川貴寿

2009(平成21)年12月、挟間町に眼科を開院してから、早いもので10年が経ちました。開業に当たり、“サクセス21”の佐藤徹さんには一方ならぬご支援を頂き、改めて感謝申し上げます。以前挨拶文をご依頼頂いていたのですが、自分の気持ちに整理がつかず、10年も遅れてしまった事を何卒ご容赦下さい。

遡る事1年半前、前職の病院へ勤務し9年目の自分は、前教授が退官された後の身の振り方に悩んでいました。医局に在籍しているとはいえ、関連病院での勤務期間の方が長くなり、今更大学へ戻る選択肢は考えられませんでした。一方で勤務先への就職も躊躇され、“引(惹)かれる”というより“押される”形で開業を考えるようになり、迷っていた際知人にご紹介頂いたのが佐藤さんでした。かねてから力を入れておられた医療コンサルタント業務に専念すべく、前職の会社を退職され、ちょうど“サクセス21”を立ち上げられたタイミングでした。

明確な開業の意志を持っていなかった自分は、背中を押してくれる人が欲しかったのかも知れません。佐藤さんに出会えた事で一気にハードルが下がり、話が進んで行きました。開業地選定の際は(結果的に破談であれ)候補地の地権者との交渉に尽力し、排水路の確保に当たっては初瀬井路の周辺住民への説明に奔走されました。医院の設計やロゴマークのデザインを、素人ながら我流で作ろうとした自分には、幅広い人脉を生かし優秀な設計士やデザイナーを紹介して頂きました。職員の面接や教育でも、正に八面六臂の活躍を見てくれた佐藤さん。無事開院した後も折に触れ、様子を見に顔を出して下さいました。

言い訳になってしまいますが、開業時にコメントをお断りしたのは、まだ胸を張って“開業しました”と言える心境になかったためです。勿論、自分の選択に後悔はありませんが、十分な覚悟があったか、と問われれば正直な所自信がありません。勤務医時代は経営や人事・労務管理の事など全く考えが及ばず、自分以外は皆女性の職場でコミュニケーションも難しく、事務の補佐役と考えた妻を止むなく事務長に駆り出す形になり、大変苦労を掛けてしました。

当然の話ですが結婚と同様、開業とはゴールではなく、スタートなのです。また一度スタートしたら、引き返す事は困難です。開業を考えている方へのアドバイスとして、“覚悟はあるか”と再度自問をお勧めします。そして、決断したら迷わない事。その時には、佐藤さんが全力でサポートしてくれる筈です。





見える・安心・気持ちいい!!

医療法人

立川眼科

眼科 院長 立川 貴寿

〒879-5506 大分県由布市挾間町挾間276番地2

TEL : 097-586-3719 FAX : 097-586-3819



待合室は一部にダークブラックの壁を施し  
空間を引き締めました。



受付は、ミディアムブラウンとオフホワイトを  
基調に瀟洒なカウンターをしつらえました。



待合室の壁に由布市のシンボルである由布岳の  
モニュメントを大胆にレリーフとしました。

立川先生とお知り合いになれたのは、まだ私がサラリーマンとして勤務していた頃、付き合いのあった御の担当者から、『開業を真剣に考えているドクターがいるので会ってもらえませんか?』という、ひとことがきっかけでした。それは平成19年のことです。

当時湯布院の病院に勤務されていた立川先生は、今自分が診てている由布市に住んでおられるご高齢の患者様を、どうしても見放す訳にはいかないという強い意志を示され、それに感動した私は必死に空き地を探しては、不動産会社の方と地主さんの所へ何度も赴き、折衝を行いました。

最初はAさんと言う地主さんと交渉していましたが、どうしてもAさんは相場より高い金額で譲りませんでした。

後日談ですが、数ヶ月間交渉していたところ、突然その近くの地主さんが「お医者さんだったら協力する価値がある」と、好条件な提示をしてくださり、あっさりと双方満足な条件で話がまとまりました。

その時ショックだったのはAさんでした。その後金額を下げてきましたが、あのの祭りです。

開業立地を決定するうえでの交渉場面では、このように売り手と買い手、貸し手と借り手。様々な人間模様があります。どのような場合も本当にケースバイケースです。

開業当初立川院長は約束通り、週に一度湯布院町への往診を続けられ、地域内でお一人の眼科医として、たとえ一人の患者様であっても、その患者様のために孤軍奮闘をされておられました。

4年前の開業当初からスタートしたスタッフは誰ひとり欠けることもなく、院長は奥さまやスタッフの力に支えながら、湯布院町、庄内町、挾間町の集積地の立地で着実にファンを増やされ、地域になくてはならない唯一の眼科医として、ご活躍をなされています。



診察室 病気の早期発見、治療のための設備を取りそろえています。  
目の状態を映して病状を説明します。また、プライバシーに考慮したレイアウトとし、安心して相談できる空間となっています。

# 10年前当時の折り込み広告

2009年  
12/7 由布市  
月 挟間町に開院

立川眼科

# 完成見学会ご案内

地域に愛される  
クリニックを目指して

見学会日時  
12/5 土 → 6日  
AM10:00～PM5:00  
(6日はPM4:00迄)

立川眼科では、2009年12月7日(月)の新規開院に先立ちまして、地域の皆様に安心してご来院いただけるように院内を公開致します。医療設備や施設をあなたのご目でご確認いただける見学会です。当院の目指す「見える・安心・気持ちいい」をモットーに掲げた眼科医療を少しでもご理解いただければと思っております。どうぞお気軽にお見学下さい。

※正面の外観(ファサードの一例)  
追大な由布市街の雰囲気をうけいじしました。



立川眼科 健康セミナー同時開催  
12月5日土 14:00～15:00 12月6日日 11:00～12:00  
開院に先立ち、見学会と健康セミナーを開催いたします。この機会にご来院ください。

◎当院の理念 … 「見える」「安心」「気持ちいい」

「見える」医療 人は情報の80%を目から得ています。情報化や長寿化に伴い、目の役割は更に重要な位置になりました。当院では視力はもちろんのこと、「見え方の質(Quality of vision)」も、よりよく見えることを目指します。また最新の電子カルテを導入し、画像を多用することで、患者様によく分かる(=見える)丁寧なご説明に努めます。

「安心」な医療 治療の第一歩は、よくご説明し不安を除くことです。治療する対象は疾患ではなく、患者様ご本人です。糖尿病や高血圧などの全身疾患をお持ちの患者様は、主治医と密に情報を交換し、各々の治療に生かします。当院は地域に根差した「目のかかりつけ医」を目指し、大学や各病院との連携にも力を入れます。

「気持ちいい」医療 一口に目の不調と言ってもコントクト・ドライアイ・アレルギーなど様々です。患者様の日々を快適(=気持ちいい)に保つことも、眼科の重要な役目です。当院はパリアフリーに配慮し、アメニティの充実にも心がけています。スタッフ一同、患者様のニーズに応じた、きめ細かくご満足頂ける医療サービスを約束します。

診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
午後2:00～6:00	○	手術	○	休診	○	○

お問い合わせ先  
TEL:097-586-3719  
FAX:097-586-3819  
住所:〒879-5506 大分県由布市挟間町挟間276番地2

ゆふコンタクト  
TEL:097-586-3619

休診 木曜日午後・日曜日・祝日 ◎各種コンタクトレンズ取り扱いです。

access map



勤務医から開業医へ  
安心をお手伝いする

medical produce  
**SUCCESS21**

株式会社 サクセス21  
〒870-0854 大分県大分市羽屋211番地の2 ユニバスピル1F  
TEL:097-594-3955 / FAX:097-594-0390 / E-mail:success21@train.ocn.ne.jp

<http://www.success21.biz>

サクセス21 検索